

第2期南九州市創生総合戦略における重要業績評価指標（KPI）

基本目標		※毎年度末の実績値を入力 (その他基準日等がある場合は、年度末の数値に限らない)						担当課係	
分野		重要業績評価指標(KPI)						達成状況	未達成の理由と今後の方針
総合戦略における施策		項目	基準値	R2	R3	R4	目標値		
【しごと】地域の特色を生かす安定した雇用環境の確保	生産年齢人口	17,609人	16,582人	15,909人	15,460人	15,834人	×	人口減少に伴うものであるが、しごと環境の改善により人口増を目指す必要がある。	
	農業生産額	520.9億円/年	459.0億円/年	511.1億円/年	510.3億円/年	維持	×	耕種部門については、前年に比べて増加したものの、養豚において出荷頭数の減少により農業生産額は減となった。今後農業者の所得向上につながるよう、国県一体となって支援を行っていく。	
	製造業出荷額(工業統計調査)	531億円/年	441億円/年	R5.8確定	R6.8確定	維持	×	コロナ禍により経済情勢が悪化したことによる。R5.5より経済活動も復調し始めているところであるため、今後積極的に振興策展開を図る。	
農林									
1 農業経営基盤の強化	認定農業者数(うち法人数)	755人(164法人)	743人(168法人)	736人(175法人)	720(177法人)	770人(175法人)/累計	×	高齢化による離農や経営形態の縮小などの理由で減少している。基本構想水準到達者や認定就農者を中心に認定農業者への誘導をすすめていく。	
	担い手が経営する農地の割合	63.87%	67.50%	71.40%	75.10%	75.00%	○		
	地域の中心となる経営体数	875経営体	914経営体	924経営体	926経営体	890経営体/累計	○		
	耕作放棄地面積	713ha	737ha	782ha	896ha	677ha/累計	×	農業従事者の高齢化等に伴い、耕作条件の悪い農地を中心に今後も増加すると見込まれるが、遊休農地等活用条件整備事業を活用して解消に努めるとともに、非農地判断への取組みを進める。	
	青年農業者等交流会への参加者数	51人	0人	18人	33人	維持	×	コロナ禍により、人数を制限しての開催となった。今後新型コロナウイルスの感染症状の位置付けが5類に移行することに伴い、交流会が制限なく開催できれば積極的に参加していく。	
	農業研修生受入者数	0人/年	2人/年	0人/年	3人/年	3人/年	○		
	新規就農者数(50歳まで)	17人/年	6人/年	9人/年	18人/年	維持	○		
	スマート農業の実践数	1件	1件	3件	22件	3件/累計	○		
2 生産流通体制の強化	農産物販売促進活動件数	15件	3件	6件	6件	30件/年	×	コロナ禍の影響により、各種販売促進活動が自粛となった。感染の状況を見極めながら、農産物の有利販売を図るため、販売促進活動に努める。	
	かごしまブランド認定数	5件	5件	5件	5件	8件/累計	×	今後も関係機関と連携し、かごしまブランド団体認定要領に則した生産組織の育成を図り、ブランド認定数の確保に努める。	
	かごしまの農林水産物認証(K-GAP)団体数	12団体	12団体	12団体	14団体	14団体/累計	○		
	ふるさと納税返礼品における6次化商品の出品事業者数	32事業者	77事業者	37事業者	44事業者	35事業者/累計	○		

【作業部会長が入力をしてください】
商工観光課商工水産係

農政課農政係

農政課農政係

農政課農政係

農業委員会農地係

農政課農政係

農政課総合研修係

農政課農政係

農政課農政係

農政課生産流通指導係

農政課生産流通指導係

農政課生産流通指導係

農政課農政係

第2期南九州市創生総合戦略における重要業績評価指標（KPI）

基本目標		※毎年度末の実績値を入力 (その他基準日等がある場合は、年度末の数値に限らない)						担当課係		
分野		重要業績評価指標(KPI)						達成状況	未達成の理由と今後の方針	
総合戦略における施策		項目	基準値	R2	R3	R4	目標値			
3 茶業の振興	第三者認証工場の割合 (ISO-GAP・JAS等)	79.46%	77.98%	76.60%	77.20%	88.50%	×	優位性及び事務の煩雑さで理解されない部分があるため関係機関と連携し、継続して推進を図る。	茶業課茶業係	
	各種茶品評会入賞率	76.00%	70.00%	72.40%	86.96	83.30%	○		茶業課茶業係	
	茶園新・改植、台切更新面積	244.2ha	269.2ha	312.8ha	338.6ha	320ha/累計	○		茶業課茶業係	
	荒茶生産量全国シェア	16.20%	17.00%	17.00%	17.00%	17.00%	○		茶業課茶業係	
	有機栽培面積	130ha	154.9ha	140.0ha	136.7ha	175ha/累計	×	有機栽培には3年かかり、転換期間中である。関係機関と連携し、受入工場と生産農家の育成を図る。	茶業課茶業係	
	降灰除去施設・機械導入工場割合(モデル工場/全工場)	70.50%	76.10%	71.80%	75.20%	87.60%	×	ここ数年の価格低迷、機械・設備の価格高騰による投資意欲の減退。任意組合等による増加に努めている。	茶業課茶業係	
	スマート農業実践工場数	0工場	6工場	6工場	13工場	10工場/累計	○		茶業課茶業係	
	「知寛茶」販売促進・商談会・PR活動回数	15回	2回	12回	23回	20回/年	○		茶業課茶業係	
	輸出に取組む茶工場数	6工場	6工場	7工場	7工場	10工場/累計	×	隣接圃場との栽培の棲み分けが難しい。販売輸出に向けた生産体制(肥培管理)について関係機関と連携して工場及び農家へ周知する。	茶業課茶業係	
	小売に取組む経営体数	39経営体	39経営体	39経営体	39経営体	45経営体/累計	×	審査会の出席がかなわず、周知し難かった。継続した審査会等を開催し普及活動に努める。	茶業課茶業係	
4 畜産業の振興	肉用肥育牛飼養頭数	12,689頭	12,237頭	13,642頭	13,055頭	12,700頭/年	○		畜産課畜産係	
	肉用繁殖雌牛飼養頭数	1,873頭	2,301頭	2,383頭	2,366頭	1,873頭/年	○		畜産課畜産係	
	乳用雌牛飼養頭数	1,271頭	1,172頭	1,272頭	1,231頭	1,200頭/年	○		畜産課畜産係	
	採卵鶏成鶏めず飼養羽数	2,458,592羽	2,207,605羽	2,084,938羽	2,073,899羽	2,460,000羽/年	×	採卵鶏入れ替えに伴う一時的な減少。ウインドレス鶏舎の整備等により今後増加する見込み。	畜産課畜産係	
	ブロイラー飼養羽数	904,238羽	770,955羽	705,018羽	840,570羽	904,238羽/年	×	廃業等による減少。大規模鶏舎の建設が予定されていることから、今後は増加する見込み。	畜産課畜産係	
	豚飼養頭数	96,982頭	104,954頭	89,922頭	92,257頭	97,000頭/年	×	廃業農家の増加による総飼養頭数の減少。今後は規模拡大を推進していく必要がある。	畜産課畜産係	
	自給粗飼料収穫委託面積	264ha	193ha	187ha	189ha	270ha/年	×	酪農経営の廃業等による作業委託者の減少のため。作業受託の推進が必要。	畜産課畜産係	
5 林業の振興	林業就労改善対象者数	17人/年	18/年	19/年	19/年	20人/年	×	危険を伴い敬遠される職種であるが、引続き募集を実施し雇用確保に努める。	耕地林務課林務係	
	新規技術研修受講者数	1人/年	1人/年	1人/年	0人/年	1人/年	×	林業に対する就労に対し関心が薄いと感じられるが、引続き募集を実施していく	耕地林務課林務係	

第2期南九州市創生総合戦略における重要業績評価指標（KPI）

基本目標		※毎年度末の実績値を入力 (その他基準日等がある場合は、年度末の数値に限らない)						担当課係	
分野		重要業績評価指標(KPI)						達成状況	未達成の理由と今後の方針
総合戦略における施策		項目	基準値	R2	R3	R4	目標値		
商工観光									
1 商工水産業の振興	商工会員数	973名	950名	947名	935名	1,000名/年	×	コロナ禍による社会経済情勢の変化、人口減少等が原因と考えられる。R5年度から創業支援制度を開始し、創業塾を開催する商工会と連携を図り参入環境を整備していく。	商工観光課商工水産係
	仏壇産業新規後継者数	8名	10人	10人	10人	11人/累計	×	金仏壇の需要低迷により後継者が現れにくい状況にある。県の後継者育成プロジェクトの活用を促進する。	商工観光課商工水産係
	仏壇組合に加盟する仏壇製造事業所数	35事業所	34事業所	31事業所	31事業所	維持	×	金仏壇需要低迷にコロナ禍による営業活動の制限などで廃業する者が出てきた。これを受けて令和4年度から販路対策事業補助の仕組みを改善し、産地保全にも繋がる事業補助を行い、中長期的な取組みを支援することとしている。	商工観光課商工水産係
	川辺仏壇等の販売額	6.25億円/年	4.2億円/年	3.5億円/年	2.5億円/年	7億円/年	×	金仏壇需要低迷にコロナ禍による営業活動の制限などで売り上げは低下している。今後は市場縮小しても残る一定の需要を取り込むため、仏壇組合の取組み支援に努める。	商工観光課商工水産係
	漁業の新規就業者数	0人	0人	0人	0人	3人/累計	×	就業環境の悪化による、地元漁協が新規組合員加入を停止する状況にあるため、達成が困難である。	商工観光課商工水産係
	川辺広瀬川漁業協同組合組合員数	43名	46名	42名	40名	45名/年	×	高齢化により会員数が減少した。今後、水産多面的機能発揮対策事業による河川愛護活動などを通じて組合員増加を促進する必要がある。	商工観光課商工水産係
	南九州市水産振興会会員数	35名	35名	36名	36名	40名/年	×	高齢化に伴う減、遊漁船主へも勧誘を行う。	商工観光課商工水産係
2 企業立地の推進	市内企業の求人に対する充足率	26.20%	18.73%	14.87%	R5.7確定	40.00%	—	求職者と市内企業の求人とのミスマッチが原因と考えられる。特に若年層の市外流出を防止するため、市内企業のPRや多業種企業の誘致に引き続き取り組みながら、各種補助制度等による就労支援を行い、充足率の向上に努めていく。	企画課企画係
	立地協定の締結件数	1件/年	1件/年	7件/年	1件/年	1件/年	○		企画課企画係
	市内高等学校新卒者の地元企業への就職率	8.30%	12.00%	7.10%	R5.7確定	17.00%	—	目標値には達成していないが、コロナ禍以降、県内就職が増加傾向にある。今後も地元企業説明会等を行い、認知度を上げて行くとともにサテライトオフィス等による新たな業種の企業誘致等も進めていく。また、各種補助制度等による就労支援を行い、衆力率の向上に努めていく。	企画課企画係
3 観光の振興	観光ガイド件数	546件/年	212件/年	314件/年	484件/年	700件/年	×	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少したため。観光再開の兆しが見えてきた中、技術の向上や有料サービス開発等に努める。	商工観光課観光交流係
	着地型観光ツアー受入件数	59件/年	24件/年	36件/年	48件/年	70件/年	×	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少したため。市観光体験予約サイト「みな、たび」の運用を開始したことから、積極的なPRを展開する。	商工観光課観光交流係

第2期南九州市創生総合戦略における重要業績評価指標（KPI）

基本目標		※毎年度末の実績値を入力 (その他基準日等がある場合は、年度末の数値に限らない)						達成状況	未達成の理由と今後の方針	担当課係
分野		重要業績評価指標(KPI)								
総合戦略における施策		項目	基準値	R2	R3	R4	目標値			
保健福祉										
1 地域保健・医療の充実	30歳から64歳の健診受診率	31.20%	17.50%	34.30%	31.70%	61.00%		30歳代の受診率が低い。今後もAIを活用しながら受診率向上に向けて受診勧奨を継続していく。	健康増進課保険係	
	30歳から64歳までのメタボ又は予備軍の率	22.50%	24.10%	25.40%	24.90%	20.00%		新型コロナの影響を受けての運動不足・摂取エネルギーの増加の影響が考えられる。重症化予防に加え、一般対象者への働きかけを並行して行う。	健康増進課保険係	
2 高齢者福祉の充実	シルバー人材センター登録者数	384人	362人	364人	358人	390人/累計	×	病気等による退会者数が入会者数を上回っている。会員数の少ない地域の加入を促す。	長寿介護課高齢者福祉係	
3 障がい者(児)福祉の充実	就労移行支援事業利用者数	8人	8人	8人	6人	9人/年	×	就労移行ができるように各施設と協力し支援を促す	福祉課障害福祉係	
	就労継続A型支援事業利用者数	44人	32人	39人	33人	45人/年	×	利用者や事務所のニーズを把握しながら支援を促す	福祉課障害福祉係	
	就労継続B型支援事業利用者数	163人	173人	193人	193人	163人/年	○		福祉課障害福祉係	
教育文化										
1 生涯体育の推進	体協加盟団体総会員数	4,400人	4,222人	3,887人	3,667人	維持	×	人口減少や若者の運動離れに伴い、会員数の減少に歯止めをかけることが出来ない。多種目の新規加盟団体の加入促進を図る必要がある。	保健体育課スポーツ推進係	
	成人のスポーツ実施率	-	週1回以上:43.1% 週3回以上:11.1%	-	-	週1回以上:70%程度 週3回以上:35%程度	-	3年毎に県が調査している。(次回はR5)今後の体育行事や会議等で広報すると共に、市スポーツクラブの会員の確保に努めることで実施率の向上を図る。	保健体育課スポーツ推進係	
2 地域文化の振興	知覧武家屋敷庭園有料入場者数	162,496人/年	41,328人/年	45,259人/年	82,543人/年	200,000人/年	×	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少したため。今後は、西郷邸貸付による体験や三宅邸を活用した民泊展開をPRし誘客に努める。	商工観光課観光交流係	
	文化財保存活用地域計画策定	-	30%	60%	90%	1件(策定)/累計	-	令和5年度中に計画承認の予定	文化財課文化財係	
3 高等学校の活性化支援	市内中学校新卒者の市内高等学校への進学率	36.79%	27.88%	35.31%	29.80%	42.00%	×	近隣市の公・私立高等学校への進学が多いと考えられる。市内3高等学校へ現在行っている活性化事業(広報活動、各種検定受験料補助)を継続し、将来の社会生活のために魅力ある高等学校づくりを行う。	企画課企画係	
	高等学校の活性化支援に対する市民満足度	10.90%	R3アンケート実施予定	9.60%	R6以降アンケート実施予定	11.90%	-	市内3高等学校へ現在行っている活性化事業(広報活動、各種検定受験料補助)を継続し、これら高等学校への進学率を高め、加えて広く周知することで市民満足度の向上を図る。	企画課企画係	

第2期南九州市創生総合戦略における重要業績評価指標（KPI）

基本目標		※毎年度末の実績値を入力 (その他基準日等がある場合は、年度末の数値に限らない)							達成状況	未達成の理由と今後の方針	担当課係
分野		重要業績評価指標(KPI)						達成状況	未達成の理由と今後の方針	担当課係	
総合戦略における施策	項目	基準値	R2	R3	R4	目標値					
【ひと】地方への新しい人の流れをつくる	人口(市内定住者)	35,065人	33,811人	33,039人	32,377人	32,674人	×	自然減や社会減により年600～700人規模で減少しており、目標値を300人近く下回る結果となった。人口減少対策としての各種施策を着実に実施し、減少数の通減を図る。	【作業部会長が入力をしてください】 企画課企画係		
	観光客入込数	614,875人/年	202,803人/年	250,668人/年	421,225人/年	1,000,000人/年	×	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少したため。今後は、観光再開の兆しが出てきたことから、積極的なPRに努める。			
	訪日外国人客	28,939人/年	397人/年	461人/年	4,872人/年	30,000人/年	×	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少したため。今後は、観光再開の兆しが出てきたことから、積極的なPRに努める。			
	教育旅行等の受入学校数	550校/年	514校/年	722校/年	776校/年	700校/年	○				
商工観光											
1 観光の振興	ツアーの造成数	0回	18回/累計	23回/累計	28回/累計	15回/累計	○		商工観光課観光交流係		
	観光施設整備・改善数(Wi-Fi)	12箇所	14箇所/累計	27箇所/累計	34箇所/累計	18箇所/累計	○		商工観光課観光交流係		
	地域おこし協力隊の導入人数	4人	8人	9人	9人	8人/累計	○		企画課企画係		
	教育旅行民泊受入施設数	38施設/年	33施設/年	32施設/年	34施設/年	60施設/年	×	新型コロナウイルス感染症の影響により教育旅行民泊受入が減少したため。観光再開の兆しが見えてきた中、市ツーリズム協議会・観光協会と連携し、会員数増加に向けた講座・講演会等を行う。	商工観光課観光交流係		
	教育旅行民泊等の利用者数	1,102人/年	0人/年	0人/年	95人/年	1,200人/年	×	新型コロナウイルス感染症の影響により教育旅行民泊受入が減少したため。観光再開の兆しが見えてきた中、教育旅行セールスを積極的に行う。	商工観光課観光交流係		
	民宿等営業施設数	8施設/年	7施設/年	8施設/年	9施設/年	10施設/年	×	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少したため。観光再開の兆しが見えてきた中、新規開業を計画する事業者もあることから、PR等に努める。	商工観光課観光交流係		
2 交流活動の促進	民宿等の利用者数	665人/年	455人/年	369人/年	525人/年	750人/年	×	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が減少現象したため。観光再開の兆しが見えてきた中、施設案内等の情報発信を行う。	商工観光課観光交流係		
	交流都市等との交流事業参加者数	104人/年	0人	0人	0人	150人/年	×	交流都市等との交流事業は、ねぶた祭りや小京都祭りといったイベントへの参加が主となるが、新型コロナウイルス感染症のまん延により、これらイベントが中止となった。今後は、ウイズコロナでの交流方法を検討協議する。	企画課企画係		
	ふるさと納税寄附件数	45,000件/年	152,992件/年	128,109件/年	126,316件/年	50,000件/年	○		商工観光課商工水産係		

第2期南九州市創生総合戦略における重要業績評価指標（KPI）

基本目標		※毎年度末の実績値を入力 (その他基準日等がある場合は、年度末の数値に限らない)						担当課係	
分野		重要業績評価指標(KPI)						達成状況	未達成の理由と今後の方針
総合戦略における施策	項目	基準値	R2	R3	R4	目標値			
社会基盤									
1 住環境の整備	市営住宅に入居申込をした者の入居率	83.00%	100.00%	93.62%	76.10%	90.00%	×	人気のある住宅に入居希望者が多くなる傾向がある。今後も住みやすい市営住宅の環境整備に努める。	都市政策課市営住宅係
	転入者人口	1,124人/年	1,012人/年	924/年	1,085/年	1,200人/年	×	コロナ禍による人流の減によりR3は減少したがR4にやや持ち直した。転入者の増加に向け、移住希望者のニーズを把握しながらそれに沿った施策の実施に取り組む。	企画課企画係
	お試し居住の利用人数	20人	49人	77人	131人	100人/累計	○		企画課企画係
	空き家バンク登録件数	142件	181件	201件	230件	220件/累計	○		企画課企画係
	空き家バンク成約件数	13件/年	18件/年	14件/年	19件/年	14件/年	○		企画課企画係
	サテライトオフィス整備件数	0件	0件	2件	2件	2件/累計	○		企画課企画係
教育文化									
1 平和を語り継ぐ都市の実践	スピーチコンテストの応募学校数	66校/年	71校/年	73校/年	94校/年	70校/年	○		知覧特攻平和会館管理係
	館外企画展開催箇所数	3箇所/年	2箇所/年	3箇所/年	4箇所/年	3箇所/年	○		知覧特攻平和会館管理係
	収蔵資料カルテ作成件数	163件	433件	458件	624件	550件/累計	○		知覧特攻平和会館管理係

第2期南九州市創生総合戦略における重要業績評価指標（KPI）

基本目標		※毎年度末の実績値を入力 (その他基準日等がある場合は、年度末の数値に限らない)							担当課係	
分野		重要業績評価指標(KPI)								
総合戦略における施策		項目	基準値	R2	R3	R4	目標値	達成状況	未達成の理由と今後の方針	
【結婚・出産・子育て】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	人口ビジョンに定める合計特殊出生率(R7年度1.80)を満たす出生数	219人	175人	169人	142人	219人	×	経常的な人口減少に伴う出生数の減、これに加え新型コロナウイルス感染症の流行に伴う出産の控えなどが考えられる。【R4合計特殊出生率:1.24(R3:1.37)(住基)】不妊治療補助制度や各種子育てサポートの周知を図る。	【作業部会長が入力をしてください】 福祉課子育て支援係	
	子育てしやすいまちと感じる人の割合	15.90%	R3調査	17.30%	実施なし	20.00%	×	住民ニーズは、子育て世帯への補助制度や、子育て関連施設などの充実が挙げられるためと考えられる。サポートセンターの充実、R4.6から子ども医療費助成の年齢を18歳までに引き上げ、R5.4からひとり親家庭等医療費助成申請書を受診医療機関へ提出実施など各種子育てサポートの周知を図る。		
社会基盤										
1 住環境の整備	出会い応援事業参加者数	107人/年	0人/年	0人/年	0人/年	200人/年	×	昨年度に引き続き、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響でイベントが自粛され、出会い応援事業の実施件数は0件だった。令和5年度は、コロナ前のように事業の周知を図っていく。	企画課企画係	
生活環境										
1 消防・防災体制の充実	乳幼児対応の備蓄食料品の備蓄数	480食	480食	480食	480食	480食分/年	○		防災安全課交通防災係	
	自主防災組織における年1回以上の防災関連訓練の実施	60.40%	35.10%	38.60%	18.55%	100.00%	×	コロナ禍により人が集まる状況を回避する傾向にあり自主防災組織における訓練も同様に実施されない状況にあったようである。各組織へ訓練実施について呼びかけを行う。	防災安全課交通防災係	
2 交通安全・防犯体制の強化	未就学児交通死亡事故数	0件	0件	0件	0件	0件/年	○		防災安全課交通防災係	
	市内の犯罪発生件数	152件	256件	164件	190件	140件/年	×	犯罪防止のため広報活動等を実施しているが効果が上がっていない。犯罪防止啓発をさらに実施していく。	防災安全課交通防災係	
保健福祉										
1 子育て支援体制の強化	妊娠の早期届出率(11週以内)	92.89%	94.85%	95.59%	95.49%	95.00%	○		健康増進課健康推進係	
	乳幼児健診平均受診率	98.04%	92.20%	93.48%	93.79%	98.00%	×	健診案内については母子保健推進員による受診勧奨活動を引き続き行う。医療機関委託の9~11ヶ月児健診の受診率が80%台であるため、複数回受診勧奨をおこなう。健診未受診者については、育児相談や訪問等で個別に状況把握をおこなう。	健康増進課健康推進係	
	子育て支援センター来館者数	1,986人/年	2,426人	2,740人	2,851人	2,400人/年	○		福祉課子育て支援係	
	ファミリー・サポート・センター会員登録数	374人	634人	739人	766人	650人/年	○		福祉課子育て支援係	
	保育所等入所待機児童数(毎年10.1現在)	3人	0人	0人	0人	0人/年	○		福祉課子育て支援係	

第2期南九州市創生総合戦略における重要業績評価指標（KPI）

基本目標		※毎年度末の実績値を入力 (その他基準日等がある場合は、年度末の数値に限らない)							担当課係	
分野		重要業績評価指標(KPI)						達成状況	未達成の理由と今後の方針	
総合戦略における施策		項目	基準値	R2	R3	R4	目標値			
教育文化										
1 学校教育の充実	不登校児童生徒数(小中学校)	22人	43人	44人	49人	17人	×	小学校の不登校生が昨年度に比べ、大幅に増えている。要因として、ゲーム等による生活の乱れや保護者との連携が不足していることが挙げられる。また、コロナによる長期欠席から不登校になった児童も見られた。今後、個々の児童生徒の支援計画の作成及び見届けを確実に実施する。また、保護者との連携を進めていく必要がある。	学校教育課学校教育係	
	いじめ解消率(小中学校)	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	○		学校教育課学校教育係	
2 社会教育の充実	家庭教育学級の参加率	44.70%	53.10%	49.70%	46.10%	55.00%	×	令和4年度は、2幼稚園、17小学校、3中学校の計22か所で開設した。内容は、喫緊課題(人権教育、SNS等)を取り上げ実施してもらおう依頼した。新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の計画どおりに実施できなかった教室もあった。今後も各学校の実情にあった内容を探りながら、多くの保護者が参加しやすい教室となるよう調査研究を行っていきたい。	社会教育課社会教育係	
協働参画										
1 男女共同参画社会の実現	男女共同参画社会の実現に対する市民満足度	9.00%	R3アンケート実施予定	9.20%	—	15.00%	—	満足度評価は、アンケート調査等を実施していないことから数値で示せなかった。男女共同参画社会の実現のため、市民の意識に深く浸透するよう、積極的に広報・啓発活動を行っていく。	まちづくり推進課共生・協働推進係	

第2期南九州市創生総合戦略における重要業績評価指標（KPI）

基本目標		※毎年度末の実績値を入力 (その他基準日等がある場合は、年度末の数値に限らない)							担当課係	
分野		重要業績評価指標(KPI)						達成状況	未達成の理由と今後の方針	
総合戦略における施策		項目	基準値	R2	R3	R4	目標値			
【まちづくり】時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	住みよさランキング(東洋経済)	317位	541位	654位	504位	317位	×	評価は、安心度・利便性・快適度・富裕度の4つの視点から、算出されており、前年度と比較すると順位は上昇している。今後も社会基盤づくりの実現を目指し、道路・交通体系や住環境の整備を図るため様々な取組が必要である。	【作業部会長が入力をしてください】 都市計画課都市計画係	
	道路整備率(1,2級市道)	98.10%	98.45%	98.50%	98.50%	98.50%	○			
	中心市街地内の人口割合	26.01%	26.18%	26.44%	26.69%	維持	○			
社会基盤										
1 道路・交通体系の整備	橋梁長寿命化計画による修繕箇所	9箇所	11箇所	17箇所	23箇所	22箇所/累計	○		建設課土木係	
	市道舗装改修延長	0m	2,335m	4,496m	5,957m	5,000m/累計	○		建設課管理係、維持係、土木係	
2 公共交通機関の充実	コミュニティバスの利用者数	4.3人/本	2.54人/本	2.19人/本	2.13人/本	4.9人/本	×	人口減少による利用者の減少はもとより、新型コロナウイルス感染症に伴う利用者の行動パターンの変化等が考えられる。利用促進へ向けた広報周知を行うほか、予約型乗合タクシーの利便性向上を図る。	企画課企画係	
	路線バス及び鉄道の維持	15本	15本	15本	15本	維持	○		企画課企画係	
3 市街地の整備	肥大化等した街路樹の適正管理	0m	180m	180m	250m	820m/累計	×	R4年度は、地域との合意形成や予算上の制約等により少量の事業量となった。今後も累計目標達成へ向け継続的に事業に取り組む。	都市政策課都市計画係	
4 住環境の整備	親水護岸工の整備延長	187m	216m	216m	261m	368m/累計	×	R4年度は、R3線予算の工事実績である。R4年予算は繰越され、R5年予算を含めて工事の予定であり、進捗が期待できる。今後も完了へ向け要望を行っていく。	都市政策課都市計画係	
	親水公園の整備	2,000㎡	2,000㎡	2,000㎡	2,000㎡	2,100㎡/累計	×	上記計画の進捗状況をみながら整備を行う。	都市政策課都市計画係	
5 情報通信基盤の整備	超高速ブロードバンド世帯カバー率	80.30%	92.45%	99.83%	100.00%	99.30%	○		企画課情報政策係	
生活環境										
1 消防・防災体制の充実	避難行動要配慮者の状態調査	909人/年間	719人/年間	709人/年間	768人/年間	1,000人/年	×	死亡や施設入所、長期入院や子供との同居等により非該当になる方がいるため達成できなかった。引き続き、在宅福祉アドバイザー等の実施する訪問による要配慮者の把握を行っていく。	福祉課社会福祉係	
	情報提供に同意して登録された要支援者数	692人	451人	416人	358人	800人/年	×	死亡や施設入所、長期入院や子供との同居等により非該当になる方がいることから達成できなかった。障害福祉係から障害者情報の活用や、民生委員や自治会長へ地域で支援の必要であろう方に登録を促すよう促してもらっているところであり、引き続き登録が必要な方への周知を図っていく。	福祉課社会福祉係	
	地域住民による避難支援者数(延べ人数)	711人	479人	511人	378人	800人/年	×	要支援者の死亡等による減少と、今まで支援してくれていた方の高齢化や死亡等による減少等により目標を達成できなかった。今後も引き続き、民生委員や自治会長を通じ、協力員変更や新規協力員登録を促してもらい、支援者数の増を図っていく。	福祉課社会福祉係	
	防災情報集約システムの導入	—	—	—	—	導入	—	未導入。導入に向け機器等の検証を行う。	防災安全課交通防災係	

第2期南九州市創生総合戦略における重要業績評価指標（KPI）

基本目標		※毎年度末の実績値を入力 (その他基準日等がある場合は、年度末の数値に限らない)							達成状況	未達成の理由と今後の方針	担当課係
分野		重要業績評価指標(KPI)						達成状況	未達成の理由と今後の方針	担当課係	
総合戦略における施策	項目	基準値	R2	R3	R4	目標値					
保健福祉											
1 高齢者福祉の充実	買い物支援協力店の拡大	74店舗	78店舗	80店舗	80店舗	85店舗/累計	×	商工会加入事業所のうち買い物支援協力店に該当しそうな事業所は既にほぼ登録されており、新規加入事業所は買い物支援登録店には適さない事業所が多く登録店を拡大できなかった。今後は協力店に適しているが未登録の事業所に説明し、登録意向調査を行う予定。	長寿介護課地域包括ケア係		
教育文化											
1 学校教育の充実	体育館出入口のスロープ化	68.10%	85.00%	85.00%	85.00%	81.80%	○		教育総務課総務係		
2 社会教育の充実	ふるさと体験学級の募集定員に対する申込者数の割合	119.10%	71.11%	46.67%	84.62%	100.00%	×	新型コロナウイルス感染症の影響で、応募期間の短縮や周知が十分にできない状況にあった。また、事業によって申込者数に差がみられる。今後は事業の周知、魅力的な地域での体験活動の発見に努め、多くの方々に申し込んでいただけるよう事業を進めていきたい。	社会教育課社会教育係		
3 地域文化の振興	歴史・文化財講座等の実施回数	18回/年	34回/年	31回/年	31回/年	25回/年	○		文化財課文化財係		
協働参画											
1 地域コミュニティの充実	支援を受けた市民主体による地域活動団体数(国庫補助・交付金事業等での支援)	5団体	6団体	12団体	16団体	13団体/累計	○		まちづくり推進課共生・協働推進係 農政課農政係		
2 効率的な行政運営の推進	公共施設の総延べ床面積	261,000㎡	257,330㎡	255,447㎡	253,423㎡	257,000㎡	○		財政課財産管理係		
	一部事務組合等の広域連携	推進	推進	推進	推進	推進	○		企画課企画係		

総合戦略における基本目標の達成率

基本目標		※毎年度末の実績値を入力 (その他基準日等がある場合は、年度末の数値に限らない)							
分野	総合戦略における施策	項目	基準値	実績値			目標値 (B)	達成率	達成状況
				R2	R3	R4(A)		(A) / (B)	
【しごと】地域の特色を生かす安定した雇用環境の確保		生産年齢人口	17,609人	16,582人	15,909人	15,460人	15,834人	97.64%	×
		農業生産額	520.9億円/年	459.0億円/年	511.1億円/年	510.3億円/年	維持	97.97%	×
		製造業出荷額(工業統計調査)	531億円/年	441億円/年	R5.8確定	R6.8確定	維持	—	—
【ひと】地方への新しい人の流れをつくる		人口(市内定住者)	35,065人	33,811人	33,039人	32,377人	32,674人	99.09%	×
		観光客入込数	614,875人/年	202,803人/年	250,668人/年	421,225人/年	1,000,000人/年	42.12%	×
		訪日外国人客	28,939人/年	397人/年	461人/年	4,872人/年	30,000人/年	16.24%	×
		教育旅行等の受入学校数	550校/年	514校/年	722校/年	776校/年	700校/年	110.86%	○
【結婚・出産・子育て】若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		人口ビジョンに定める合計特殊出生率(R7年度1.80)を満たす出生数	219人	175人	169人	142人	219人	64.84%	×
		子育てしやすいまちと感じる人の割合	15.90%	R3調査	17.30%	実施なし	20%	—	—
【まちづくり】時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する		住みよさランキング(東洋経済)	317位	541位	654位	504位	317位	—	×
		道路改良率(1,2級市道)	98.10%	98.45%	98.50%	98.50%	98.50%	100.00%	○
		中心市街地内の人口割合	26.01%	26.18%	26.44%	26.69%	維持	102.61%	○